

2016（平成28）年度
第19回福岡県小中特別支援学校事務職員研究大会開催要項
（第二次案内）

1. 大会テーマ 「子どもの豊かな育ちをめざして、
学校経営ビジョンの実現に貢献する学校事務」
2. 目的 これからの公教育がめざす方向性の中で、学校事務職員が果たすべき役割を確認するとともに、各地区の事務実践の交流を通じて、県内学校事務職員の課題と展望を考えます。
3. 主催 福岡県小中特別支援学校事務職員研究会
4. 後援 福岡県教育委員会／福岡市教育委員会／北九州市教育委員会
5. 期日 平成28年11月25日（金曜日） 受付9：30～
6. 会場 都久志会館 福岡市中央区天神 4-8-10（TEL 092-741-3335）

7. 日程

9:30	10:00	10:40	12:10	12:15	13:30	14:50	15:10	16:35
受付	開会行事 基調提案	記念講演	諸 連 絡	昼食	分科会前半	休 憩	分科会後半	閉 会

8. 参加者 公立小・中・特別支援学校事務職員
教育委員会事務局職員及び教育関係機関職員

9. 内容

(1) 講演

【演 題】「企業の取組から学ぶ学校のガバナンス改革
—学校事務職員の目標・機能を考える—」

【講 師】 ベネッセ教育総合研究所 副所長
東京大学社会科学研究所 客員准教授 木村 治生氏

(2) 分科会とその概要

【第1分科会】（定員400）

■分科会主題

長期ビジョン（とびうめマップ）の具体化

ー実践へつながるヒント。やってみよう！ー

■内容：実践報告と意見交換

3名の事務職員が事務実践を発表し、長期ビジョン（とびうめマップ）のキーワード「専門性」「協働」「連携」の具体的な展開を考えます。

■実践報告

①「掲示物を通したカリキュラムマネジメントへの貢献について」

「気づき」から「行動」へ。こんな実践はいかがですか？

（発表者）遠賀町立遠賀中学校 神谷 博重

②「学校納入金システム改善による事務機能の強化」

事務職員が中心となり学校全体で学校納入金システムを改善することにより、多くの効果を得た。とくに、他職員による事務職員の見方、在り方に変化が生じた。

（発表者）嘉麻市立牛隈小学校 野見山 佑

③「これからの学校事務職員がめざすべき方向性」

事務職員が主体的に動いたことで、学校運営が円滑になった実践例／具体的な実行手順（校納金事務を例にして）／社会の変化と学校事務職員を取り巻く環境の変化について／これから私たちがめざすべき方向性

（発表者）大野城市立月の浦小学校 戸渡 絵梨

【第2分科会】（定員100）

■分科会主題

業務改善と教育委員会連携 ー将来の事務職員像について考えるー

■内容：事例報告と小グループ研修

① 教員の労働実態調査等を参考にして、教員の事務負担軽減や業務改善の在り方を考えます。

② 少人数グループで、学校事務職員としてできること・やりたいことを出し合い、その実現のための課題及び課題解決策について話し合います。

10. 参加申込み

(1) 福事研のホームページ（<http://fukujiken.com/>）を介して申し込みを受け付けます。指示に従って、入力してください。

申込期間 10月13日（木）～10月31日（月）

(2) 会員外の参加希望者も申込できますが、参加費2,000円を当日いただきます。

(3) 問い合わせ先

事務局 和田泰三（飯塚市立穂波東中学校）あて

メール（t-wada76@city-iizuka.ed.jp） 電話（0948-22-1052）

※ 受付は、大ホール入口で行います。

- ・会員は、入口右奥の各地区テーブルで受付をお願いします。
- ・会員外の方は、入口正面で受付をお願いします。（参加費2,000円をいただきます。）
- ・福岡県教委、県内市町村教委関係の方は、入口左側で受付をお願いします。